

6月議会報告

国保広域化推進に異議あり

6月議会最終日、日本共産党市議団を代表して井之川博幸市議は、「議案第60号平成28年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」について、反対の立場から討論を行ないました。その討論の要旨を紹介します。

「今回は、2018年度からの国保の広域化に対応するもので、国保の実務は従来通り市町村が行い、国保財政の大元は都道府県が管理するというもので、そのため群馬県と本市との電算システムなどを処理できるよう改修するものであり、財源は国からの補助金となっています。

今回行われている『国保の広域化』は、医療費を削減する目標を持つ都道府県に国保の財政を握らせ、市町村医療費を削減するため財政面での施策が考えられているようです。

今国保に必要なのは、高い国保の原因となっている削減した国の負担を元に戻すとともに、社会保障の一環として位置づけ、国の負担を増やしていくことこそ重要です。さらに、国保税はどうなるかなどの詳細は、全く分からない中で、「広域化」ということだけは決めていることは、被保険者や市町村の意向は全く無視されているといわざるを得ません。このように、多くの問題点がある『広域化』を進めるためのシステム改修については認めることはできません。」以上です。

沼田市は消滅可能性自治体を脱却できるか

第六次総合計画に関する特別委員会を設置

沼田市では、2007年度から16年度までの10年間で「水と緑の大地 田園空間都市」と題し、第五次総合計画を進めてきましたが、日本創成会議による「消滅可能性都市」に入っていました。

第六次総合計画は、2017年度からの10年間の計画をつくるわけですが、人口減少や産業の衰退に歯止めをかけ、住む人にやさしく、安心・安全な沼田市をつくっていくための「総合計画」をつくること出来るでしょうか。私たちは、絵に描いた餅にならぬよう、全力で市民の暮らしや福祉優先の計画を目指して頑張っていきたいと思っています。

参院選いよいよ終盤へ

堀越けいにん押上げへ最後の7・6大集会！

会場の高崎音楽センターへ大型バスが出ます

◎7月6日(水)午後5時：月夜野情報ターミナル出発 → 5時15分：沼田市役所前 → 5時30分：沼田税務署前 → インターを経て高崎へ（帰りは逆コース）



◎候補者カ一来沼日程

- *7月2日：おくだカー・午前8時～12時：みなかみ～沼田
・11時15分、塩川哲也衆院議員 裁判所前で演説
- *7月6日：政党カー・午後1時～8時：利根町、片品・昭和村など
- *7月7日(木)午後7時堀越けいにん決起集会：利根沼田文化会館

利根保健生協が第40回総代会を開催



山田理事長のあいさつを聞く参加者の皆さん

まず山田理事長のあいさつがあり、原田専務理事から報告・提案がおこなわれ、長年の懸案だった利根中央病院の新病院移転建設を完成させ、昨年9月に沼須町に新規開業することが出来ましたが、今回は、それらの内容の報告と15年度事業報告と決算及び16年度事業計画と予算、さらに4月から利根中央病院新院長に就任した大塚隆幸氏を生協理事に新任する提案などが行われ、全議案が承認されました。

利根保健生活協同組合は、6月18日、ホテルベラヴィータにおいて、第40回通常総代会を開催しました。開会にあたって、来賓の横山沼田市長などからあいさつをいただきました。



あいさつする横山市長

2016年7月3日 No.799

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料